

上毛

特集

活かしあうまち 豊かな水と緑の環境共生の町

7 こうげ町広報 July 2010 VOL.57

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 10
- 食を育てる 12
- カルチャー 13
- 町の情報ひろば 14
- 特集 活かしあうまち 16



町の花(春) 桜



町の花(秋) コスモス



町の木 梅

● 編集 発行 / 上毛町役場企画情報課
〒871-0002
福岡県築上郡上毛町大字垂水13211
TEL 0979723111
FAX 0979724664

● 印刷 / 築上印刷(有)

人の動き

5月31日現在

●人口	8,180 (-16)
●男性	3,892 (-6)
●女性	4,288 (-10)
●世帯数	3,097 (-10)

ごみの量

5月31日現在

●可燃ごみ	134.38t (-0.81t)
●カン・ペットボトル	3.35t (-0.23t)
●びん	5.08t (-0.23t)
●古紙他	16.97t (-8.50t)
●可燃粗大	3.29t (-0.38t)
●不燃	10.98t (+3.95t)
●プラスチック製容器包装	2.48t (+0.56t)
●紙パック、白色トレイ	0.08t (-0.02t)

Photo 上毛町フォトクラブ
奥田尚志さん(宇野)

http://www.town.koge.lg.jp

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい植物性インク(大豆インク)を使っています。

藤野恭子さん(王佐井)



まちの太陽光発電システム 設置第1号

以前から太陽光発電システムを設置しようかと家族会議を開いていましたが、背中を押してくれたのは、町の補助金でした。設置が決まったら、逸る気持ちを抑えきれずに、申請当日は、朝6:30から役場に行き開庁時間になるのを待ちました。おかげで申請第1号に(笑)太陽光発電システムを設置してから、電気の使用量がいつでも目に見えて分かるようになったので、省エネ意識はグンと高まりました。自分たちがどれだけ省エネできたか、数字でハッキリと表れるため、最近ではご近所さんと省エネ競争するようになっていきます。

環境を守るのは私たち一人ひとりの心がけ。町のごみ出しについても、分別に余念がありません。次はコンポスト設置が目標です。

重松ユリ子さん(原井)



「エコハウス」 できることから始める

家の建て替えが決まり、やるなら「エコハウス」にしようじゃないか、国が進めている温暖化防止キャンペーンに自分たちも何か協力できるのではないかと思います。太陽光発電システムの設置に踏み切りました。他にも我が家の「エコハウス」たる所以は、断熱材入りの壁にペアガラス(二重構造のガラス)、そしてエコ給湯(省エネタイプ)や、魔法瓶のような材質の冷めにくい風呂釜など、エコにこだわっているところにあります。また、普段からマイバックは欠かせません。洗剤も極力使わないように工夫しています。

浄化槽は4月に設置したばかりですが、全然悪臭がしないので、その性能に驚いています。排出される水もきれいなので、これからもっと環境が良くなれば、この地域にいたホテルが、また戻ってきてくれるのではないかと期待に胸を弾ませています。

上野晴生さん(宇野垂水)



子どもたちに伝えたい 環境を守る 大切な視点

今までお世話になった宇野東区と、自分の居所である宇野垂水で、自身の健康保持と毎日子どもたちの登下校の見守り活動に合作せて、ゴミ拾いを行っています。

昔から「チリも積もれば山となる」とよく言われます。『自分一人くらい、この程度のゴミなら捨てても大したことはないだろう』これが積み重なればゴミの山という訳ですよ。このことは誰もが子どもの頃から教わってきました。けれども、残念なことに大人の人たち(ほんの一部の不心得な人とは思いますが)が平気でこの決め事を破る現状があります。

これを子どもたちが見て、「大人がやっているんだからボクたちもこのくらいなら…」と繰り返せば、ゴミのポイ捨てはいつの時代になってもなくならないのでは…。習慣とは恐ろしいもの、やはり良い習慣を小さい頃から身に付けたいものです。何といても大本はゴミを捨てない、出さない、汚さないが原点ですね。

『ポイ捨ては環境汚染の第1歩』
そして、美しく、きれいな上毛の環境をみんなで守り続けましょう。

7月の表紙 表紙の写真は、町自慢の自然の恵みをいっぱいを受けて育つブルーベリーです

近年、町の特産品として注目されているブルーベリー。中村地区で栽培されているブルーベリーは30種類以上もあります。果実の甘み・酸味もそれぞれ種類ごとに特徴があり、味の違いを楽しむことができます。ジャムなどの加工品も、町内道の駅やさわやか市大平をはじめ、福岡都市圏などに出荷しており、町のPRに一役買っています。

こんにちは。企画情報課の森重一です。 編集後記

6月12日、九州北部地方も梅雨入りが発表されました。しかしながら、本当に梅雨入りしたの??と疑いたくなるくらい少雨続きで、田んぼや井戸の水、ダムの貯水率が気になるようです。

先日、宮崎県の口蹄疫問題について新たな発症や感染疑いの確認がないということから「終息に向かっている」という認識を国が示しました。この間、報道されていないところでも、本当に多くの計り知れない関係者の御尽力があったはず。

そのような中でも、「今回の報道によりこれまであまり知られていなかった「エース級の種牛」の事や「畜産王国日本」などが広く知れ渡る機会になった」また、「県民が一丸となって守るべきものが見えた」という、今後の復興の励みとなるようにと、ポジティブな声も聞かれました。

口蹄疫問題をはじめ、各地で起こるさまざまな事案は、決して対岸の火事ではないため、いつも自分たちの問題として考える視点を持つことができればと感じています。そして、地域で守るべきものが何か、これを共有できるように考えていきたいです。